

コミュニティスクール議会広報

■発行：占冠村議会 ■責任者・編集：議会広報特別委員会
〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 TEL 0167-56-2191 FAX 56-2184



参加状況

- 占冠中学校(生徒16人) ●トナム学校(生徒5人) ●占冠村議会議員 8人
- 傍聴者 18人

CS議会議員の動き

- 9月12日 第4回議会定例会 CS議会議員議会傍聴 (CS議員)
- 11月10日 「議会のしくみ」を説明・一般質問の検討 (CS議員・村議員)
- 11月14日 一般質問の検討 (CS議員・村議員)・一般質問の通告 (CS議員)
- 11月15日 一般質問を各村議員へ周知

校長あいさつ (占冠中学校 篠原純也校長)

今日は、皆さんが学校生活と村をより良くするための質問をします。この取り組みは、他の市町村にはない、ととても貴重な経験になります。トナム学校の9年生や占冠中学校の3年生は、社会科の公民の時間で議会制民主主義について学んできました。CS議会の取り組みを通じて議会の仕組みを学んで成人後責任ある人間として社会に参加する一助になればいいなと考えています。

この機会を準備してくださいました占冠村議会議員皆様、議会事務局の皆様、そして占冠村の関係者に感謝申し上げます。生徒の皆さん頑張ってください。

生徒あいさつ (トナム学校後期課程9年生 下川冬翔さん)

本日議会の運営に協力いただいた皆様、議会にお招きいただきありがとうございます。一日議員として議席に座る生徒の皆さん、本日は一生に一度できるかわからない貴重な体験をさせていただいています。今回の貴重な時間を大切に学習に取り組みしましょう。

『占冠むらびと条例』に、「満18歳未満の青少年及び子どもは、それぞれの年齢にふさわしいむらづくりに参加する権利があります」という記載より、村づくりに参加する権利を使うにあたって、本日の発言には責任を持って今後の生活をしていきましょう。今日は一日よろしく願いいたします。

人間として、社会へ参加するための基礎を育むことを目的に開催されました。
ため、生徒一人一人が議員に質問し、意見を述べていただきました。

占冠中学校 A 班

学校など (施設や設備、安全対策)

生徒

石坂、ウターナゲ、熊崎、八木



学校の老朽化

石坂 CS 議員

問 占冠中学校も建てられてから年数が経ちました。老朽化のため、壁の崩壊や雨もりも起きています。何か改善策があるか伺います。

〔大谷議員〕 財政面のことがあります。すぐに危険がある場所は通らなことが一番と思いますが、教育委員会では部分的な対策を予定しているようです。

学校の冷暖房環境についての訪問

ウターナゲ CS 議員

問 日に日に寒くなり、学校の教室にとっても寒さを感じます。充分な暖房器具が備え付けられていたらと思っていますが、一度、学校へ足を運んで様子を見ることは可能でしょうか。

〔大谷議員〕 議会事務局と先生方との日程調整できましたら伺いたいと思います。

学校の水道

熊崎 CS 議員

問 今の占冠中学校の水道は冷水しか出ません。冬に使用するとき、とても寒いです。温水整備について、何かお考えはありますか。

〔大谷議員〕 予算のこともありますので、すぐにはなりません。教育委員会では手洗いと掃除に使えるぐらいの簡易的な温水設備を整えたいと考えています。次年度を楽しみにしてください。

電子黒板について

八木 CS 議員

問 電子黒板を使用する際に外からの光により画面が見づらいため、授業に支障があると思っています。何か改善策はありますか。

〔木村議員〕 黒板はプロジェクター型のため、ある程度、教室を暗くしたほうが見やすくなります。カーテンや電気を消す工夫も必要ですが、それでも改善されなければ、機器の老朽化が考えられますので、教育委員会と予算化に向けて相談することをお勧めします。

カメムシの対策について

石坂 CS 議員

問 占冠中学校の二線校舎にカメムシが大量に発生しており、生徒や先生も苦労しています。このことを把握して対策を考えていますか。

〔木村議員〕 このような状況を把握できていなかったことをお詫びします。現場の状況を把握し、PTA等の捕獲作戦、防虫剤等の散布、それでも、手に余るような状況であれば、専門業者へ委託する手順になると思います。教育委員会には、しっかり対応していただきたいと思います。

学校の和式トイレの改装

熊崎 CS 議員

問 いまだに和式トイレがあり、誰にも使われていない所があります。トイレの改装を行った方が良くと思うのですが、考えを伺います。

〔木村議員〕 災害時の避難所に指定されている中学校のトイレの洋式化、バリアフリー化への改修の設計は終了し、予算がつかましたら着手する予定となっております。和式トイレについては多様性もありますので、それを好む方もいることを理解していただきたいと思います。

占冠中学校 B 班

地域活性化 (産業など)

生徒

佐々木、中本、石塚、渡辺



村のアクティビティについて

石塚 CS 議員

問 冬はスキー目的、夏は移動の際の休息目的で観光客が立ち寄ることが多いのが現状です。そこで、観光客を対象としたサイクリングツアー、山菜採りツアーなどの四季折々の自然を体験できる占冠ならではのアクティビティはお考えですか。

〔細谷議員〕 占冠村サイクルツーリズム推進実行委員会が主体となるヒグマライド、山菜採りでは、山菜実行委員会での山菜を学び採り食べるツアー、山菜コンクールでもウォッチングツアーを行い人気を博しています。このほかにもフォトツアー、クライミング体験、ラフティングなどを行っていますので、これらのプログラムをブラッシュアップすることが大切だと思います。砂金採りやフィッシング、リバーウォッチングなども自然体感しむかっぴを体現できる可能性を秘めています。

SNSの有効活用について

渡辺 CS 議員

問 祭りにより多くの観光客を集めるために、様々なSNSを有効

活用して、宣伝すべきと思いますが、どうお考えですか。

〔細谷議員〕 観光情報は、観光協会のしむかっぴーを活用したツイッター、占冠村のフェイスブックなど様々な方法で発信しています。ふるさと祭りの情報はラインでも告知されております。

特産品について

佐々木 CS 議員

問 現在、村にはメープルシロップなどの特産品がありますが、村が活性化するような新しい特産品を生み出すご予定はありますか。

〔細谷議員〕 観光協会が積極的に商品開発を行っていますので、アイデアや情報など支援していきたいと思っています。また、私は、山菜コンクール実行委員会審査員でもありますから、ウドベージュの他にも商品実現に向け、関係各所と協力していきたいと考えております。

村のイベントについて

中本 CS 議員

問 村全体が盛り上がるようなイベントとして、村出身の子が活躍する場面を地域の人を集めて、パブリックビューイングを行うなどの案は何かお考えですか。

〔下川議員〕 パブリックビューイングについては考えたことはありませんでしたが、出身の人をみんなで盛り上げていくことは大切だと思います。周りの大人に声をかけていただければ、パブリックビューイングなどを企画することができるのではないかと考えます。

占冠村の中学生が、議会の仕組みを理解することによって成人後に責任ある。今回は模擬議会として学校や地域の事柄等を議会の流れに沿って議事を進

占冠中学校 C 班

地域のコミュニティと文化

生徒

森田、鈴木、千葉、蠣崎



ますが、こういった場であれば参加しやすいですか。

鈴木 CS 議員 みんなで考えて対処していきたいと思います。

占冠の祭りの内容について

森田 CS 議員

問 祭りの内容を改新、もしくは新しい企画について若い世代の意見を反映させる場面はありますか。

藤岡議員 令和6年のふるさと祭は50周年の記念イベントになりますが、そこで皆さんの意見を反映させることは可能です。実行委員には校長先生もメンバーになっていますので、自分たちの意見を託し、実行委員会で話し合われ、可能であれば実行されるかと思います。

祭りの屋台の働き手の高齢化について

蠣崎 CS 議員

問 現在、祭りの屋台の高齢化が進んでいるので、例えば占冠村やしむかっぴーのステッカーなどのグッズを屋台で中学生が出す許可は出ますか。

藤岡議員 私見となりますが、実行委員の校長先生に相談する意見をまとめることが大切です。また、全部自分たちでやろうとせず、まず、どんなことをやっているか体験することが1番の近い道です。お手伝いすることは、祭り全体の効果も大きいと思います。

山菜について

千葉 CS 議員

問 山菜教室などの山菜に触れる機会がありますが、山菜に関するイベントが減っているので、より若い世代が触れる機会を作れないでしょうか。

下川議員 占冠村には山菜が豊富にあり、その活用方法を知っていくべきだと思います。山菜コンテストなども利用して、皆さんが料理や特産品を作る仕組みがあっても良いと考えます。

占冠神楽について

鈴木 CS 議員

問 占冠神楽に出ている人が高齢化しているのにも関わらず、後継者がいないので、占冠神楽が途切れてしまうと予想されます。そのことをどう考えているか伺います。

下川議員 占冠神楽をどう残していくかはみんなで考えなければならない問題だと思います。皆さんが神楽を知る機会が必要と感じると同時に、子供の部が無いので、そのようなことができないのか考えるところです。教育委員会とも相談したいと思い

占冠中学校 D 班

環境・エネルギー問題

生徒

小瀬、杉岡、神田、伊達



をつくるなどのことは考えていらっしゃいますか。

藤岡議員 落ちているゴミの回収は、各行政区単位で最低でも年1回行われています。新たな埋め立て地の建設計画は、まだされていません。引き続き、減量化への取り組みや監視が重要と思います。

占冠村の自然環境について

神田 CS 議員

問 占冠村で伐採されている木の量と植えている量はどのくらいですか。

小林議員 伐採されている木の量は、間伐では3年間で58.77ha (1,731.317 m²)、主伐では2年間で13.09ha (2,116.52 m²)です。植林はここ3年間で11.21ha (カラマツ 24,575 本)を植えております。

ポイ捨てやゴミ問題について

杉岡 CS 議員

問 道の駅では、観光客の放置したゴミが増えていますが、ゴミ箱が設置されていない理由を伺います。また、ゴミの増加に伴い、クマなどの野生動物の出没も増えるのではないかと考えられます。消防からアナウンスを行うなどの情報共有の強化について、議員の考えを伺います。

小林議員 観光協会に問い合わせたところ、一時的には設置されておりましたが、現在は量の増加と分別の徹底に伴い、撤去されているとのこと。消防広報車で熊の出没の注意喚起を促すことは可能です。

除雪について

小瀬 CS 議員

問 登下校時の除雪ができていない、また除雪した雪を農村公園へ運んで保育園児の遊び場にするなど、除雪した雪の活用法について、何かお考えでしょうか。

藤岡議員 通学路は優先的に除雪していますが、下校時には雪が積もって行き届いていないかもしれません。除雪をされる方の人数や設備にも限界がありますので、追いついていないシーンもあると思いますが、他の市町村と比較して決してレベルは低くないと感じています。保育園児の遊び場としての活用は、安全管理上のこともありますので、それぞれ自分たちの遊び場は自分たちで作るという取り組みがよろしいかと思ます。

ゴミの埋め立て、村に落ちているゴミについて

伊達 CS 議員

問 村に落ちているゴミは誰がどのように、いつ、どのくらいの頻度で回収していますか。また、ゴミの埋め立て地にゴミを埋め立てられなくなった場合、例として木を伐採して新しい場所

私の思っていること

生徒

藤本、神部、仙石、樫本、下川、関谷



トマム地区の街灯の設置について

下川 CS議員

問 トマム地区の通学、通園路、トマムの公園などの場所は、街灯がなく、秋・冬季、夜間にとっても暗くなることに気づきました。そのため、街灯を設置するなど住民が安心して暮らせるようにする必要がありますと思いますが、どうお考えでしょうか。

小林議員 現地を確認しました。地域に住んでいる方とお話して、街灯を増やさなければならぬと思います。

再問 最低、あと2箇所は街灯が必要だと考えているのですが、小林議員はどうお考えでしょうか。

小林議員 トマム保育所、トマム公園、児童公園周辺は必要と感じました。

アスペン交流開始時期について

藤本 CS議員

問 毎年、占冠村の姉妹都市であるアスペン市との交流を行っていますが、どのような生徒が来るのか、判明するのが少し遅いと思います。中学1年生、7年生からインターネットなどを使った交流などを開始するなどすると、お互いにより深い絆を育む事ができると考えているのですが、交流時期について、どうお考えですか。

小林議員 教育委員会に問い合わせたところ、新学期の時期がこちらと異なることから、アスペンから来村する中学生の報告も遅れてしまうとのこと。帰国後もインターネットで交流は継続されていると聞いており、早く実施してほしいと思いますが、現状では難しいようです。

エアコンの設置について

神部 CS議員

問 世界的に地球温暖化が問題視されています。トマム学校内もとても暑く、授業に集中できないことも多々ありました。広報ではエアコン設置について前向きに検討するとありましたが、トマム学校の7教室全てにエアコンを設置することについてどうお考えですか。設置するとして、占冠中学校、トマム学校どちらにもつけられる予算になるよう働きかけることはできますか。伺います。

小尾議員 議会の本会議でも何度か議論してきております。教育委員会が財源が措置されましたら、3学校について検討すべきだと思います。

占冠、トマムからでるバスやJRの電車について

関谷 CS議員 (代理発言者 下川 CS議員)

問 トマム地区から、バスやJRの電車が出ていますが、バスは本数が少なく、駅も遠いため、駅まで車や自転車で行かなければ行けない状態にあります。これでは、村外に出るには誰かに車の運転をお願いすることが必要になっています。このような状況についてどう感じているかご意見を伺います。

小尾議員 村営バス、むらびと交通、社会福祉協議会の送迎、トマムリゾートで運営している企業側の送迎を集約し、デマンド交通として乗合の交通運用の検討ができないかと考えております。現実的には集約は難しいですが、利便性を高める上で、行政サイドに検討を要望していきたいと思っております。

去年のCS議会の対応について

仙石 CS議員

問 去年のCS議会で占冠村のゴミ問題について、星野リゾートと連携したゴミの削減や、埋立のごみ袋の有料化とリサイクルできるごみ袋の無料化、分別ルールやマナーについて確認するイベントの実施などを提案しました。現在の占冠村のゴミ問題についてどのようにお考えですか。

小尾議員 リゾート側との定期協議で、ゴミ問題は項目として上がっているようです。リゾートへは観光客の対応が対策となることから、分別とリサイクル方法への努力と啓発を求めています。今後、並行して地域住民のゴミ減量化対策の対応も取り組まなければならないと考えております。

買い物ができる店について

樫本 CS議員

問 トマムにはコンビニなどの買い物ができる店が少なく、急に必要になったものがすぐに買いに行くことができません。また、リゾート地から食料や飲料を求めてミナトマムに来る人が多いなどの不便な点がいくつかあります。改善策を伺います。

小尾議員 ミナ・トマムの営業日や商品の拡大、ネットショッピングの普及拡大、宅配システムの利用促進などが上げられます。利便性を高めるためにも、色々な方と相談して事業展開していければと思います。

議長の講評 (抜粋)

今回のCS議会は、生徒の皆さんに議会というのはどういうものか知ってもらうこと、そのために、少々ハードルは高かったかもしれませんが、議員にとって最も意義ある発言の場とされる一般質問を取り上げ、模擬議会として開催しました。

私事になりますが最初の一般質問のときは膝ががくがく震えるぐらい緊張したことを覚えています。皆さんは堂々と発言され、大変良かったと思います。自分の考えを、あるいは思いを伝えるということは、少々難しかったと思いますが、議員の発言は「簡潔明瞭にする」という規則もありますので、学校生活においても、いかに簡潔明瞭に自分の考えを発信できるか、これからも勉強していただきたいと思っております。

今回の議会では時間制限がありましたので、発言時間を大幅に制限せざるを得ない状況となりました。議会の本分とも言える議論を尽くすことということに多少欠ける面もあったことは、少々、残念に思っております。これは来年の課題ということにして、以上を申し上げ、私からの講評といたします。

(占冠村議会 議長 児玉 眞澄)